



大河ドラマ へらぼう

〜 葛重栄華乃夢噺 〜

美術部一年「山本・矢口・山田・井村・小鳥井・石田」が調べてみた。

<プロフィール>

寛文三年(1760)1月7日

新吉原で生まれる

翌年、徳川吉原が没する

24歳とはじめて出版をする事に...!?

☆はじめての出版物

24歳とはじめての出版物である

吉原細見(しじめい)と

つくった!(平賀源内の協力)

葛屋の工料によって破格となった

吉原細見は
飛ぶように
売れた!!

☆吉原細見とは?

吉原のガイド的なもの。

茶屋、藝妓、船宿の一覽などを
のせている!



☆朋誠堂喜三との出会い

葛屋のザンジンな考え方にひかれた喜三。
喜三は吉原の番付を書いており、
その番付で書き方は吉原で評判だった。

喜三によってつなげた
縁もあり、葛屋の書物は
さらに人気になっていった。
そしてついに、

吉原細見を独占出版した!!



☆吉原って?

流行の最先端!

この所が、葛屋は
自由の時代を
つくった。



☆頭のキレ、バツグン!?

吉原細見の書物が
吉原では主流であった。

このばかり、4巻とすると葛屋はひたすら
10-2の配置を繰り返して書いてお!!

葛屋のひたすらは大成!!

紙代が安く、本の価格も
他がうんと安く売った!!



20-2を...



10-2に!!

☆浮世絵師と最強タッグ

喜多川歌麿の才能とより
引き出し、浮世絵以外の制作も
させていた!

またその破天荒な葛屋は
当時全くの無名であった
東洲斎写楽の錦絵を
いち早く28点も刊行した!?



葛屋の一生									
1797	1794	1791	1789	1783	1781	1774	1772	1770	1760
喜三の没	東洲斎写楽の「役者絵」が 江戸の中心に!!	親友、山東京屋と「しじめい」を 喜多川歌麿の「美人画」を販売。	喜多川歌麿の「美人画」を販売。	喜多川歌麿の「美人画」を販売。	喜多川歌麿の「美人画」を販売。	日本橋に新店舗を米店。	狂歌ブームの勢いにのる。	吉原細見の編集者。 カビユリ作を出版。	本のレビューの仕事をはじめ。

47年間命!

葛屋重三郎が見た!文化・娯楽

葛屋重三郎 (1750 ~ 1797) ⁴江戸のメディア王^王

文化

葛屋重三郎が活躍した江戸後期は宝暦・天明文化の時代!

また、化政文化が發展し、浮世絵や文学、歌舞伎などの芸能が人気を博していた。

□宝暦・天明文化 蘭学や国学などの学問が盛んに、有信堂や川柳、浮世絵などが發展!!

□化政文化 浮世絵や滑稽本、歌舞伎、川柳など、後に現代に受け継がれる江戸期の

町人文化の全盛期! 代表的な作品は葛飾北斎「富嶽三十六景」「歌川国重」東海道五十三次

① 浮世絵

葛屋重三郎が育った浮世絵師→喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎



題材は、遊女や役者、風景や
当時流行していた芝居や遊戯、また
または世間をにぎわせた事件・出来事
などが取り入れられ、美人画や歌舞伎画
は今でいうアイドルや芸能人の
プロマイド・ポスターのようなものだった

② 歌舞伎



江戸時代の人々は
現代人が映画やドラマを
見る感覚で歌舞伎を
楽しんでいた。
奇抜な服装や髪型、
行装を好む「傾奇者(かぎや
きせの)」が注目を集めた。

③ 狂歌

葛屋重三郎は
狂歌師として
活躍した!!

狂歌とは、5・7・5・7・7の
定型にのせて日常の出来事を
詠じたり、社会風刺を行ったり
する、和歌のこと。遊び心を
重視する奥のこじりや
洒落を交わせるのが特徴。

とれば又とるほど損の 谷年を
くらくらと 思うおれさ
「歳を取ればとるほど損の
心、年の暮れや明けを祝って
仕方ないさうよ」

葛屋重三郎の時代の

江戸時代中期～後期のころ

幕府・政治について

葛屋重三郎が生きた時代

1760年頃



徳川吉宗
隠居

後は
まかせたぞ

まかせて!!



徳川家治
10代将軍に就任

徳川吉宗の隠居により
吉宗が寵愛していた徳川家治を10代将軍にした。

田沼意次の政策

この頃には徳川吉宗が行なっていた享保の改革が限界をむかえていたため意次は商業を重要視する政策にした。
また、意次は株仲間を積極的に公認していた。
株仲間とは...



株仲間

商人が同じ商品を扱う者同士で結成した組合。独占的に仕入れ、販売ができる。

意次は株仲間を認める代わりに税金を納めさせ、幕府の財政を安定させた。

1780年頃

松平定信



松平定信は田沼意次が失脚した後
に老中となり、農村の立て直しを重視し、寛政の改革を行なった。天明の飢饉により荒廃した農村を復興するため人口増加、耕地面積の回復を目指した。

貧民救済

打ちこわしを防ぐために
石川島人足寄場をつくら

現在の刑務所の源流

棄捐令

御家人の窮乏を救うために借金を帳消しにした



寛政異学の禁

幕府で働けるような人材を育成するために
昌平校を設けた。



蝦夷地開発

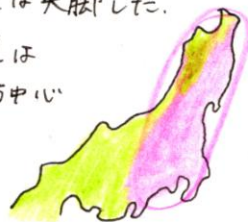
ラフスマンが蝦夷に来た際、定信が
ロシアの軍に帰国させた。

しかし...

田沼意次の政治は賄賂政治だったため批判が強くなった。

失脚の大きな原因となったのは「天明の大飢饉」で30万人もの死者が出たため意次は失脚した。

天明の大飢饉は奥羽・関東地方中心に起こった。
「江戸四大飢饉」の1つである



あの江戸のメディア王!!

葛屋重三郎

世に送り出した絵師とは



葛屋重三郎

1750年2月13日
生まれ

1797年5月31日
死去

簡単に!!

葛屋重三郎って何者?!

江戸時代の中期～後期に活躍した版元で
新作家や浮世絵師を発掘し江戸の文化の発展に貢献!!

独学で技を磨いた
異色の存在

北尾重政

役者の個性を
描き出す!

東洲斎写楽

10か月ほど活躍した
後、忽然と姿を消した
謎の浮世絵師

「葛屋」全くの無名で
デビュー作品
「を30種近く一挙
に売り出す周到
なマーケティング戦
術を行った」



まだまだいるん!!

歌川広重

鳥居清長

四季折々の日本の風景を
描き出す「名所江戸百景」
など

浮世絵美人画の絶頂
期を築く「美艷十二侯」
など

江戸の粋な文化や美意識を
見事に捉え高く評価
されていた。

「葛屋」北尾重政の
技術と葛屋重
三郎の商才が結び
つき「一目千本」
が生まれた。



美人画といえばこの人!

喜多川歌麿

白く艶めかしい肌色の細い
美人画を得意とした

「葛屋」葛屋重三郎は
歌麿を狂歌
etc... 絵本という土俵
で勝負させる。



➡ 参考文献

歴史人12月号増刊 葛屋重三郎とは何者なのか?
時空旅人別冊 葛屋重三郎 - 江戸のメディア王と波乱万丈
の生涯 (株式会社三栄)・名古屋カ創ワールド・BANDAI SCHOOL

浮世絵の舞台裏

主な表現技法

肉筆画 著名人: 菱川師宣

絵師が絵筆でそのまま描いているため、とても高価。人気である美人画や花鳥画は、工房に職人を集め、量産化することで安く販売されていた。

木版画

版木に絵柄を彫り、色をつけて重ね摺りする技法。鮮やかな色で構成されており、肉筆画より数多くのものを効率的に生産できる。

何人もの人が役割分担をして作業する
= 分業体制で行われていた

浮世絵の分業体制 木版画 ver.

版元

今でいう、プロデューサー



絵師に依頼

位置がずれないように、
見当 という印をつける



彫師 が色版を彫る



かぞ〜!!!

今でいう
ラフスケッチ

版元が
OKを出す

絵師 が下絵を描く



朱色で
色をつける

絵師 が色を指定

さらに糸田かく丁寧に



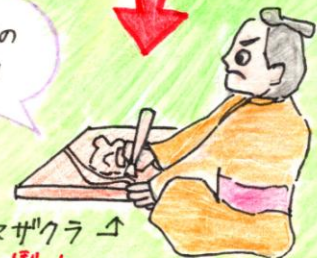
これが彫る際の
重要な原画 となる。

うす〜い紙に、
墨で描くよ!

彫師 が版下絵をかく

ポイント①

1mmの間に4本の
線を彫る技術力



木はヤマザクラ

彫師 が墨板を彫る

ポイント② 技法3種

雲母摺り: 鈿物の雲母を使い、光輝をもたせる

ぼかし: 水気を与えブラシでぼかして摺る

空摺り: 強調したいものを半立体的にみせる

色はうすい
↓
濃い



彫師 が摺って完成

ポイント③

薄利多売の商品であるため、多く売らないと利得を得られない... 人気の商品は追加して摺られた。

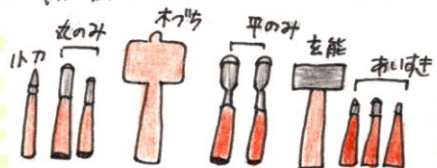
版元 が販売



いっしょに!

彫師さんの

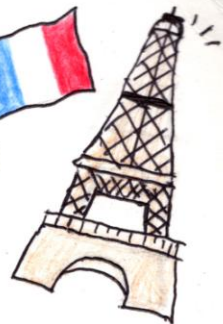
愛用道具



3色摺り

消しごいは Hancock
1人で全ての作業を
体験できます!

浮世絵が印象派を生み出した!?

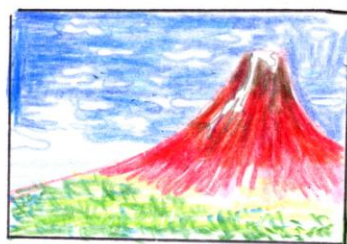


江戸時代、浮世絵は
陶磁器の梱包材
として使われていた。
数百円程度のものであった。

19世紀後半に西洋へ渡る

西洋へのImpact
☆ 鮮やかな色彩
☆ 大胆な構図

↓
写実的な表現を追求
してきた西洋へ画家達
にとって浮世絵は
斬新に見えた。



浮世絵の愛好家



「タンギー爺さん」
フィンセント・ファン・ゴッホ
ゴッホと弟のテオが所有
していた浮世絵は497
点もの数だった。

「ラ・ジャポネーズ」
クロード・モネ
自分の庭に
睡蓮の池を
つくり、何年も
描き続けた

西洋と東洋の
文化が混り合った
ユニークな作品



模写した!?

歌川広重によって描かれた
「大はしあたけの夕女」を
ゴッホが「雨の大橋」
として模写した。



他にも、
マネやドガ
などから
浮世絵に
影響されて
いた